

Together

Shukutoku University Magazine
No.235 | 2021.10.1

ウィズ・ユー 在学生紹介
積み上げた経験が、ゴールにつながる

学生×学長対談
「福祉の淑徳」だからこそ
今の時代にできることを

Pick UP 学科間の連携 ボーダーを越える学び

ともいきのこころ
学祖・長谷川良信先生の足跡

教員に聞きました!
簿記への興味を高める
画期的な学習アプリを開発中
淑徳人 No.234 Interview
挑戦することで伝えたい感謝の気持ち
CAMPUS NEWS



表紙：千葉キャンパスノートテイク実行委員会の皆さん（写真左から）柴山 岳さん、齋藤 佳奈絵さん、佐柄 芹佳さん、武石 渉さん

在学生
...Student introduction...

積み上げた経験が、 ゴールにつながる



Sone Nanami

曾根七海さん

看護栄養学部栄養学科4年生
ジェフユナイテッド市原・千葉レディース所属
ポジション：MF

兄の影響で始めたサッカーで頭角を現し、高校3年生からトップチームの選手として活躍。大学では栄養学を学び、管理栄養士の国家資格取得を目指す。抜群のバランス感覚で学問とスポーツの両分野を駆け抜けている。

**友人や先生方に支えられ
学業とプロ生活の
両立を図る**

食べる事が大好きだったの
で、「食」を学びで深めたいという
思いから看護栄養学部に進学しま
した。一方、4歳で始めたサッ
カーでは、中学生からジェフユナイ
テッド市原・千葉レディースのユ
ースチームに所属し、高校3年生の
ときにトップチームのメンバーに選
ばれ、今年からプロ契約をしました。
今は、学生とプロサッカー選手
を両立しながら活動しています。
サッカーの練習は週6回、夕方
からスタートするので、基本的に
は授業後に参加しています。練習

先輩とのつながりで より明確になった 目標への道

今は管理栄養士の国家試験に向
けて勉強中です。栄養学科では、
国家試験対策として1年生から4
年生にかけて段階的に学ぶプログ
ラムが組まれているので、必要以
上に焦らず向き合っています。
実は、同じサッカーチームに管理
栄養士の資格を持つ卒業生がい
て、いろいろ相談させてもらっています。経験に基づいた先輩の話か

ら、資格取得のために具体的にい
う、何をしたら良いかなどが分か
り、とても参考になります。先輩
のおかげで、管理栄養士の資格取
得という目標への道筋がよりハッ
キリしました。

大学での経験を活かし 未来に向けてキックオフ！

4年生で体験した実習（※）も
強く印象に残っています。私は病
院と事業所での実習でしたが、現
場で働く方々の姿を見て、将来の
イメージを持ったことは大きかつ
たです。病院で患者さんへの栄養
指導計画書をつくる場面では、何
人分もの計画書を短時間で適切
につくっていく職員の方の手際の
良さに驚きました。授業で習っ
ていたのですが、実習を機にその
手法を改めて理解でき、座学で学
んだ知識が身についていく実感が
ありました。



*新型コロナウイルスの影響で3年生時での
実施予定が4年生時へと延期となつた

取得して、それを活かしたキャ
リアを築くスタートを切りたいと考
えています。

ボーダーを越える学び



千葉、埼玉、東京に4つのキャンパスを展開する本学では、キャンパス・学科間の垣根を越えて多彩な学修機会を提供しています。

Collaboration

女子柔道部
(埼玉)

栄養学科
(千葉第二)

Case study 04



選手の栄養指導を通して
仕事に活かせる実践力を
身につける

2020年6月から3ヵ月にわたって、看護栄養学部栄養学科の学生が女子柔道部の選手に栄養指導を実施する取り組みを行いました。これは、昨今のスポーツ競技の盛り上がりに伴ってスポーツ栄養学にも注目が集まっていることを受け、栄養学科の実践教育に結びつけることを目的としたものです。

柔道部の選手と栄養学科の学生が1対1でペアになり、選手から送られる毎日の食事記録に栄養学科の学生がアドバイスするという方法で実践的に理解を深めてきました。選手によって異なる体重管理の目標に適した指導を行うことがポイントで、学生たちが将来、管理栄



養士として仕事をする上で、座学で得た知識をいかに応用するかという学びにつながる機会となりました。

看護学科
(千葉第二)

社会福祉学科
(千葉)

Case study 03



患者さん・利用者さんへの
共通する
「思い」と「気持ち」

医療・福祉・介護現場で求められる「他職種連携」の視点での治療・療養・支援の力を養うため、毎年、看護学科と社会福祉学科の4年生が、合同で授業に取り組んでいます。2020年度はコロナ禍で合同授業が実施されませんでしたが、2021年度は感染対策に十分配慮し、看護学科生



50名、社会福祉学科生60名が参加しました。この授業では、「積極的安楽死を考える」というテーマをもとに、看護師、社会福祉士それぞれの視点から意見交換をするなど、両学科の学生にとってたいへん刺激的な機会となっています。グループワークを終えた学生は、「目指す職種は異なっても、患者さん・利用者さんへの『思い』や『気持ち』は共通していた」と話し、他職種連携の重要性を再認識するきっかけにもつながっています。

歴史学科
(東京)

表現学科
(東京)

Case study 02



歴史物語をひもとき
演劇で表現することで
考える力を育む

人文学部歴史学科と表現学科では、歴史物語を題材にした演劇創作と歴史資料展示に取り組んでいます。

2020、2021年度は、「平安京の華麗なる貴族—藤原道長の物語—」の演目で、歴史学科9名と表現学科11名の学生が共同制作を行っています。この取り組みでは、事前に脚本の草稿作成、演劇の舞台となる京都の史跡調査を実施した上で参加学生を募集しました。参加した学生には、演技の基礎や平安貴族の衣食住、平安京に関わる内容の講義を実施し、現在は、両学科のコラボレーションをベースに、演劇班と展示班のグループに分かれて活動しています。学生の発案で、広報目的の「かべ新聞」制作が始まるなど自発的な活動も生まれています。



舞台の上演は2021年度内の予定です。

経営学科
(埼玉)

社会福祉学科
(千葉)

Case study 01



サービス商品の特徴
—モノ商品との違い

3. 結果と過程の等価的重要性
・サービス=活動のため、消費者は活動のプロセスと結果を同時に体験
<例>歯の治療の場合 ⇒ 治療サービスの提供
結果: 歯の痛みの解消
プロセス: 治療途中の痛み、待ち時間
・サービスの結果とプロセスの両側面が、消費者の満足度に影響する



福祉ビジネスの実践を
さまざまな視点から
学ぶ

2021年度前期より、経営学部経営学科「企業経営研究II」と総合福祉学部社会福祉学科「福祉系ビジネスインターンシップI」の連携授業がスタートしました。埼玉キャンパスの学生と千葉キャンパスの学生がオンラインでつながり、各分野で学修してきた知識をベースに、福祉ビジネスについて学んでいます。実際にリハビリ型デイサービスを運営している企業様から課題を提示していただき、学生たちはその課題解決に向けて取り組んでいます。社会福祉学科の学生は経営面から企業の見方が学べ、経営学科の学生は現在の超高齢社会の状況を把握できるため、お互いの学生にとって大変有益な時間となっています。また、実際に企業の方から講義を受けることで、業界を取り巻く環境や詳しい仕事内容についても知ることができ、福祉業界で働くイメージがついたという学生の声も挙がっています。



6

学祖・長谷川良信先生の足跡

一写真から広がる長谷川良信先生の世界一

写真について

社会事業研究室開設式の1918年
(大正7年) 5月21日22日、記念展
覧会での集合写真です。



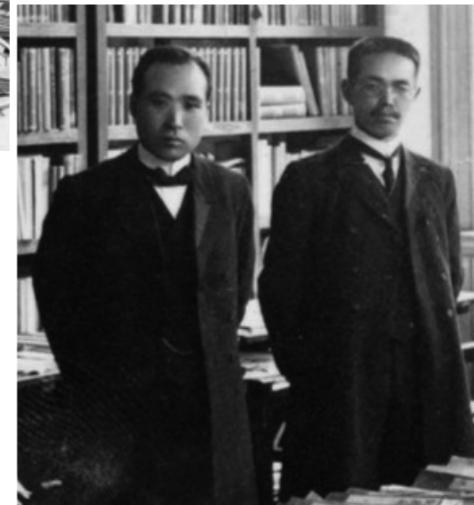
▲ 渡辺海旭教授



1 日本で初めての社会事業研究室

宗教大学(現在の大正大学)に設置されたこの研究室は、大学では最初の社会事業教育機関でした。

1917年2月設置が決定、1918年4月に開室します。初代主任は矢吹慶輝教授で長谷川良信先生は理事に就任しています。



▲ 矢吹慶輝教授(左)と28歳の良信先生(右)

2 開設式の模様

研究室は、日本で出版された図書数百冊のほか、渡辺海旭・矢吹両教授が寄贈した海外の社会事業に関する書籍を蔵書としました。集合写真はバックに書架が設置されており、研究室での撮影とみられます。

5月21日・22日は、救済事業を行った施設などの資料の展示室が8部屋併設されます。21日午後1時より開設式が開催され、300名余が参列、式の司会は渡辺教授でした。内務・文部大臣、東京府知事のほか、渋沢栄一から祝辞が寄せられました。翌日22日は淑徳高等女学校の学生も参観しました。

4 活動の展開

良信先生は、1918年3月に東京府から委嘱されて巣鴨方面救済委員の任務を負っていました。スラム地区の生活状況調査を行い、生活改善のための対策を検討することがその任務です。

この任務がきっかけとなり、西巣鴨の「二百軒長屋」というスラム地区へ単身、移住しました。研究室の学生の協力も得てセツルメント活動を展開していきます。スラム街に定住し、そこに住む人々と日常的に接して生活の改善や福祉の向上のために活動したのです。

この活動は、1919年1月のマハヤナ学園創設に繋がります。

参考文献

長谷川匡俊『トウギャザー ウィズ ヒム』2020年
『学祖 長谷川良信先生 生誕120年記念展図録』2010年



3 研究室設置の背景

良信先生は、1916年に発表した論文「社会事業に於ける人材育成の急務」(『浄土教報』2月)で、専門的な社会事業教育の開始を提言しました。この時代に「社会福祉学科」の設置を構想していたのです。こうした主張が実を結んだのが、社会事業研究室の設置でした。

アプリ開発の経験がない私がオリジナルアプリをつくることにないことは思ってもみませんでした。だから始めればいいのかすら分からず、手探りの状態でスタートしました。きっかけは、簿記へのハードルを下げたいと思ったことです。教育に携わる以上、常に就活を意識しています。経営学部の学生であれば、簿記検定は取つておいてほしい。しかし、学生たちの様子を見るといよかったです。ゲームという形態であればもっと取り組みやすくなるのではないかという直感がありました。

開発中のアプリは、クイズRPG(ロールプレイングゲーム)です。クイズ形式で経営の問題を解きながら敵を倒していくストーリーになっています。実は、着任1年目にエクセルで同じようなものをつくって教材にしたことがあります。でも、ルール

の理解度に差が出てしまい活用できませんでした。その反省から一人でも学べる学習アプリの形に落とし込んだのです。

構想から2年経つてようやく15%ほど形になってきたところです。使ったことのない画像編集ソフトを使ったり、自作のゲームを持ち寄って意見交換する集まりでアドバイスをもらったりと、試行錯誤を続けています。完成したら、将来的には他の先生方にも協力いただき、さまざまな分野の知識を盛り込んだストーリーをつくり、例えば経営学部の1年生として必要な知識がすべて身につくといったようなアプリ開発にも挑戦したいです。

山脇香織

Yamawaki Kaori

経営学部経営学科助教。専門は管理会計分野。これまで焦点を当てられてきた顧客満足や顧客ロイヤルティだけでなく、顧客の維持やウォレットシェアといった、顧客の行動に関する指標に注目した研究を行っている。

(談)

教員に聞きました!

FROM
Teacher

簿記への興味を高める 画期的な学習アプリを開発中

「簿記」と聞くと難しそうに感じませんか。簿記はさまざまビジネスで役立つことから、多くの企業が日商簿記検定の資格取得を推奨しています。

山脇香織先生は、ゲーム感覚で楽しみながら簿記を学べるよう、独学でオリジナルの学習アプリを開発しています。



教員に聞きました!

V



主な戦績

2017年11月 世界選手権大会 女子ダブルスで金メダル、ミックスダブルスで銅メダルを獲得
2018年3月 Spanish Para-Badminton International 女子シングルス準優勝、ミックスダブルス3位
2018年5月 Turkish Para-Badminton International ミックスダブルス準優勝、女子シングルス3位
2018年7月 Thailand Para-Badminton International 女子シングルス3位、女子ダブルス3位
2018年8月 Brazil Para-Badminton International ミックスダブルス優勝、女子シングルス準優勝、女子ダブルス準優勝
2018年9月 ヒューリック・ダイハツ JAPAN パラバドミントン国際大会2018 ミックスダブルス優勝、女子ダブルス3位、女子シングルス準優勝
2018年10月 インドネシア2018アジアパラ競技大会 ミックスダブルス銅メダル獲得
2018年11月 TOTAL BWF Para-Badminton International ミックスダブルス3位
2021年5月11~16日 Spanish Para-badminton International 2021(スペイン) ミックスダブルス準優勝
2021年9月1~5日 東京2020パラリンピック 女子シングルス銀メダル獲得
混合ダブルス(下肢障害SL、上肢障害SU) 銅メダル獲得
2021年8月 Brazil Para-Badminton International ミックスダブルス優勝、女子シングルス準優勝、女子ダブルス準優勝

私がバドミントンに出会ったのは中学生のときでした。バドミントン部の活動見学で初めて間近で見聞きしたスマッシュの音やスピード感に一目惚れし、入部を決めました。そこから私のバドミントン人生がスタートしたのです。

淑徳大学では、先生、仲間たちからの理解や協力を得て、学業と競技を両立させることができました。また、一人では乗り越えられない壁も、たくさん的人に支えられ、一緒に乗り越えられることを知りました。身をもって大学の建学の精神である「利他共生」を学んだ時間だと思います。このようして得た大学での学びは今、性別や年齢、人種、障がいの有無にとらわれず、尊敬の気持ちを持つて共に成長しようと考える確になっています。



えてくれる人がたくさんいること、みなさん自身も誰かの支えになっていることを忘れず、充実した学生生活を送ってください。私も、部活の仲間やゼミの友人とは今でも連絡を取り合い、気軽に話せる関係が続いている。私も先生や友人、大学と関わることができるのはうれしいことです。たくさん学んで遊び、たくさん食べて寝て、たくさん経験することで人生を楽しみましょう！

私がバドミントンに出会ったのは中学生のときでした。バドミントン部の活動見学で初めて間近で見聞きしたスマッシュの音やスピード感に一目惚れし、入部を決めました。そこから私のバドミントン人生がスタートしたのです。

淑徳大学では、先生、仲間たちからの理解や協力を得て、学業と競技を両立させることができました。また、一人では乗り越えられない壁も、たくさん的人に支えられ、一緒に乗り越えられることを知りました。身をもって大学の建学の精神である「利他共生」を学んだ時間だと思います。このようして得た大学での学びは今、性別や年齢、人種、障がいの有無にとらわれず、尊敬の気持ちを持つて共に成長しようと考える確になっています。

本学関係者の東京2020オリンピックでの活動について

本学の女子柔道部 野瀬英豪監督、ソフトボール部 増淵まり子監督の東京2020オリンピックでの活動について紹介しています。

詳細はこちらをご覧ください

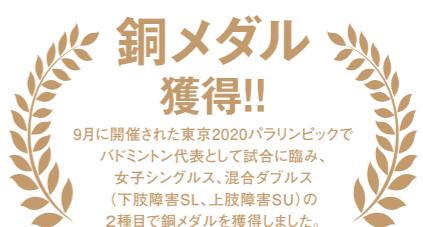
https://www.shukutoku.ac.jp/news/saitama/tokyo2020_post_41029.html



女子柔道部
野瀬英豪監督



ソフトボール部
増淵まり子監督



銅メダル
獲得!!

9月に開催された東京2020パラリンピックで
パドミントン代表として試合に臨み、
女子シングルス、混合ダブルス
(下肢障害SL、上肢障害SU)の
2種目で銅メダルを獲得しました。

そんな中、家族、チームの仲間、
トレーナー、友人、病院や会社の
方々など多くの人からの応援が本
当に支えになりました。そして、
復帰できるかは自分の努力次第、
レースに間に合うかは分からな
けれど、最後までやり切りたい、
自分の可能性に挑戦したいとい
う強い気持ちが芽生えてきました。
そこから気持ちを切り替え、リハ
ビリやトレーニングにしっかりと
向き合えるようになりました。

迷い、悩んで苦しんだ道を経て
迎えたパラリンピック本番、支え
てくださった方々にプレーを通じ
て感謝の気持ちを伝えたいです。

2013年 総合福祉学部 社会福祉学科 卒
ヤフー株式会社
コーポレートグループ PD統括本部
コーポレートPD本部 業務推進

東京2020パラリンピックで初
めて正式競技となるパラバドミ
トンの代表選手に選ばれたことは、
何かのプレゼントだと思います。
2018年11月、パラリンピック
直前に左膝前十字靭帯断裂
という大きなのがをしました。
レースに戻れるのか、そもそも競
技復帰できるのかという状態で、
リハビリをしていても焦りや不安、
もどかしさなどの気持ちが入り
混じって精神的に落ち着かない
時期が続き、チームや当時のダブ
ルスパートナーにも心配や迷惑を
かけたと思います。

多くの人の支えが
前向きにプレーする原動力

挑戦することで 伝えたい 感謝の気持ち

感謝の気持ち

杉野明子さん
Sugino Akiko



◆大学ホームページでも紹介しています

https://www.shukutoku.ac.jp/news/univ/2020_6_41033.html

千葉第二キャンパス

淑徳オレンジカフェ(認知症カフェ)で七夕の飾り付け

<看護栄養学部>

看護栄養学部地域連携委員会の教職員と学生ボランティア、地域住民が協働する淑徳オレンジカフェは2017年10月からスタートしました。認知症カフェの目指す姿は「認知症になってもその人の意思が尊重され、住み慣れた地域のよい環境で、安心して尊厳のあるその人らしい暮らしを続けること」で、認知症の人やご家族、地域住民や専門職が自由に集い、認知症の症状の悪化予防、家族の介護負担の軽減等をはかっていくことを目的とした集いの場です。7月はコロナ禍のため学生ボランティアは大学で準備を行い、集まつた人びとは七夕の飾り付けを楽しみました。



千葉東病院交流会を行いました

<看護栄養学部 看護学科>

8月9日(月)に千葉第二キャンパスにて、本学の連携病院である千葉東病院との交流会を実施しました。看護学科学生17名が参加しました。前半は副看護部長の幸阪様から、病院や各病棟の概要、看護師の業務内容について説明がありました。看護職員は約228名おり、多くの本学卒業生が活躍しています。後半の交流会では、看護部長・副部長・教育担当部長、そして看護師6名(皆本学の卒業生!先輩です!!)が3グループに分かれ、各グループを学生が巡る形で活発な意見交換が行われました。病院での実際の働き方や、どのように患者の変化に気づくのかなど、看護の専門性についても積極的に尋ねる学生の姿がありました。



栄養学科1年生対象のフレッシュマンセミナー実施

<看護栄養学部 栄養学科>

栄養学科では、前学期に1年生対象のフレッシュマンセミナーを実施しています。入学して希望に満ちあふれながらも、戸惑いも多い1年生前学期。このセミナーでは遠隔授業をスムーズに受講できるよう機器設定などの説明、レポート作成法のアドバイス、日々の授業や勉強方法で困っている事への相談対応などを行っています。学生からは「実習や課題が大変ながらも、自分の意見やレポートをまとめる力が徐々に付いてきている」という前向きな意見が多く出されました。後期からのより専門的科目の学修に向け、今後も学科を挙げてのサポートを行っていきます。



心理専門職を知ろう!

<総合福祉学部 実践心理学科>

実践心理学科では正課外プログラムのひとつとして「心理専門職を知ろう」を毎年実施しています。このプログラムでは、実践心理学科や大学院心理学専攻を卒業・修了した先輩たちに、現在のお仕事の内容について講演してもらうものです。これまで、企業の人事部で働く方や、県の職員として働く方など、さまざまな方にお話をいただきました。今年度は、主に教育現場で心理士として働く修了生3名の方に仕事の内容や職場の様子をご説明いただきました。教育センターでの訪問相談、スクールカウンセリング、高校での教育相談などを紹介いただき、どのような活動やスキルが求められているのか、実際のお仕事場面に基づいた解説がなされました。参加した学生からは、「進路選択の参考になった」等の感想が聞かれました。



心理士を目指したきっかけや、学部生時代はどのように学習を進めていたかなど、実際の体験に基づいた講演が行われました

コミュニティ政策学部の社会調査 -2020年度特殊詐欺対策調査-

<コミュニティ政策学部>

ナスカの地上絵は、地上からは見えません。空高くから見て、はじめてその絵を見ることがあります。それと同じく、社会調査で浮かび上がる社会の姿があります。調査によって、ふだんは見えない「社会」がうかびあがってきます。

「社会を知る」だけではなく、社会問題の解決のために、どんな方法が有效であるのかも、調査によってその糸口を示すことができます。逆にいえば、データにもとづかない解決策は、有効なのかどうかの検証ができません。

2020年度のコミュニティ政策学部の社会調査実習は、特殊詐欺について千葉県民約1万人を対象としました。どれくらいの人びとが知っていて、どれくらいリスクを認知していて、どんな対策をしているのか／していないのかの把握。これが第一歩でした。ついで、どんな経路の情報が、人びとの行動を変えるのに効果が見込めるのかを分析しました。自治体広報紙、特殊詐欺対策ポスター、警察官の巡回、コールセンターから電話がけ、町内会加入、口コミといった情報伝達経路との関連についても分析しました。

大学ホームページでも紹介しています▶
https://www.shukutoku.ac.jp/news/univ/post_257_40713.html



東京キャンパス

学生主導により進化し続ける資料室 〈人文学部 歴史学科〉

東京キャンパスに人文学部歴史学科が設置されてから8年目、その教育研究の重要な拠点となるのが、7号館3階の歴史資料室です。特筆すべき点は、この資料室が学生主体で運営されていることです。そこには6名の資料室員が常駐しています。主な仕事は、図書の整理と備品であるパソコンなどの貸し出し、さらには後輩の学生諸君へのレファレンス対応です。資料室員の小林英穂さんは「レファレンスの業務を通して、後輩とより親しくなれます」と語っています。伊藤美咲さんは、「資料室には、書物だけではなく、ボードに展覧会の情報なども貼られていて、情報収集にとても助かっています」と目を輝かせます。東京キャンパスは、学生主導により学修環境が改善され、進化を続けています。これが歴史学科の持ち味なのです。



学生と教員のコミュニケーションの様子
資料室の書籍で授業の事前事後学習もバッチリ!

ソーシャルディスタンスを保ったレクリエーション大会(LA科目) 〈経営学部〉

5月中旬、経営学部の学科共通科目であるLA科目内で、レクリエーション大会を行いました。

今回の目標は「ソーシャルディスタンスを保ちながらでも、心の距離はぐっと近づけるようなレクリエーション大会を開催すること」です。距離を取りやすい種目や、スマートフォンを活用した種目を、LA(ラーニングアシスタント)学生達が考案し、全クラス対抗で3種目実施しました。最初は緊張する様子も見られましたが、徐々に打ち解け、種目順位にかかわらず大盛り上がりとなりました。

参加した学生からは、「大学に入ってから一番楽しい時間だった」「先輩たちが工夫をして運営してくれていたので安心感があった」という声が挙がり、コロナ禍でのリーダーシップ・コミュニケーションの取り方について考える機会となりました。



結果発表まで大盛り上がり

表現学科の学生たちが「声」で活躍 〈人文学部 表現学科〉

表現学科と大学アドミッションセンターにより「入試解説動画2022」のナレーターオーディションが開催されました。厳正な審査の結果、東さん・小向さん・佐藤さんが選ばれました。この3名のナレーションによる「入試解説動画2022」は、本学のホームページ、そして、YouTubeでも公開されています。

また、最終審査に残った6名の学生によるランチタイムの感染予防対策を呼びかけるアナウンスも東京キャンパスで人気です。アニメの声優さんのようなものから、方言を使ったユニークなものまで、学生それぞれが趣向を凝らしたアナウンスを収録してくれたので、日替わりで放送されました。

埼玉県警察から、警察署のパトカーから流すアナウンスの依頼があり、こちらもオーディションを開催。結果、小向さん・藤田さん・佐藤さん・櫻井さん・周さんの5名が選ばれ、収録に挑みました。プロに引けを取らない学生の注意を呼びかけるアナウンスが、今日も埼玉県内のパトカーから流れています。

入試ナレーションメイキング映像▶
<https://www.youtube.com/watch?v=PuyfflADfH8>



パトカーアナウンス参加者の集合写真(左から)
佐藤さん、藤田さん、周さん、櫻井さん、小向さん



収録中の様子。それぞれの個性を生かしながらナレーションを行っています



ベトナムでのパネルシアター普及・交流活動 〈教育学部〉

2021年3月、藤田佳子教授により、ベトナムと日本をオンラインで結んで、幼児とのパネルシアター交流会と、幼稚園教諭に向けたパネルシアター講習会が行われました。

パネルシアターは、淑徳大学で27年間教鞭をとられた古宇田亮順氏によって考案され1973年に発表されて以来、日本の保育界で誰もが知るほどに広まりました。

2018~2020年度の淑徳大学研究推進事業として「ベトナムの幼児・初等教育へのパネルシアターの導入と普及」が採択され、本学とベトナム国家大学ハノイ校教育大学連携のもと、教員の相互訪問や講習会・交流会等を重ねてきました。

同大学は新設した初等・幼児教育コースに科目「パネルシアター」を設けました。幼稚園の先生方は自分たちで工夫しつつパネルシアターを保育に取り入れています。普及・交流活動は今後もさらに展開していきます。



ベトナムの子どもたちと楽しく交流(2021年3月)



ベトナム国家大学ハノイ校での講習会(2018年12月)

学園祭・ホームカミングデー

オンラインでも開催します。詳細は特設サイトをご確認ください。

- 千葉キャンパス
- 千葉第二キャンパス

龍澤祭 10/30(土)・10/31(日)

特設サイトはこちら

<https://www.ryutakusai.com/>



- 東京キャンパス

淑徳祭 11/13(土)・11/14(日)

特設サイトはこちら

<https://www.shukutokufes.com/>



- 埼玉キャンパス

淑徳祭 10/23(土)・10/24(日)

特設サイトはこちら

<https://www.shukutokusai.jp/>



ホームカミングデー

- 千葉キャンパス 10/30(土)

- 千葉第二キャンパス 10/30(土)

- 埼玉キャンパス 10/24(日)

- 東京キャンパス 11/13(土)



詳細は大学ホームページをご確認ください
<https://www.shukutoku.ac.jp/graduates/>

発行日 | 2021年10月1日

編集 | 淑徳大学 大学広報誌編集委員会

発行 | 淑徳大学 大学事務局

大学広報誌制作における 新型コロナウイルス 感染防止策について

本誌の制作では、写真撮影は密を避けながら短時間で実施し、取材は電話やオンライン会議システムを活用しました。新型コロナウイルス感染防止策を徹底しながら、制作にあたりました。

□千葉キャンパス

総合福祉学部 コミュニティ政策学部
大学院 総合福祉研究科
〒260-8701
千葉県千葉市中央区大巣寺町200
Tel 043-265-7331

□千葉第二キャンパス

看護栄養学部
大学院 看護学研究科
〒260-8703
千葉県千葉市中央区仁戸名町673
Tel 043-305-1881

□埼玉キャンパス

経営学部 教育学部
〒354-8510
埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
Tel 049-274-1511

□東京キャンパス

人文学部 淑徳大学短期大学部
〒174-8631
東京都板橋区前野町6-36-4
Tel 03-3966-7631

大学広報誌「Together」読者アンケートのお願い

大学広報誌「Together」は4月と10月の年2回発行しています。保護者や卒業生の皆様に向けて、「淑徳大学の今」をお届けします。皆様の貴重なご意見、ご感想をお聞かせいただきたく、右記QRコードより読者アンケートへのご協力をお願い致します。



公式HP



公式Twitter



アドミッションセンター公式Twitter